

三年生 国語 学習プリント

三年 組 名前



○ 声に出して読みましょう。読めたら○を一つぬりましょう。

P	下 P128	下 P104
「 これまで学習したお話（題名を書こう）	とらとおじいさん アルビン・イトレセルト 作 光吉夏弥 訳 宮本忠夫 絵	モチモチの木 斎藤 隆介 作 滝平 二郎 絵
○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

○ 右の中から、一番すきなお話をえらびましょう。そのお話で心にのこったところを中心に感想を書きましょう。

一番すきなお話

縦線のある書きやすいマス。

👉 下 P 118 「たいせつ」をヒントにして書きましょう。

○ 次の(1)～(5)の文の——部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

(1) 山のかみさま。

(1)

(2) 村のおまつりがある。

(2)

お

り

(3) 下りのさかみち。

(3)

(4) くすりばこを運ぶ。

(4)

(5) ゆをわかす。

(5)

☞ 「モチモチの木」(下p104)でたしかめましょう。

○ 次の(1)～(5)の言葉をローマ字でていねいに書きましょう。

(1) [ぴあの]

.....  
.....  
.....

(2) [ちゃわん]

.....  
.....  
.....

(3) [でんしゃ]

.....  
.....  
.....

(4) [しっぽ]

.....  
.....  
.....

(5) 自分の名前

.....  
.....  
.....

☞ 下p139の「ローマ字の表」を見てたしかめましょう。

# 漢字・語句の復習「ことわざ・故事成語・ローマ字」



このページの答えは、次のページにあります。

1 「石の上にも三年」ということわざの意味を、ア～エの中から一つ選んで、記号に○をつけましょう。

- ア 何事もやってみないと、よさが分からないこと。
- イ あることが得意な人でも、失敗することがあること。
- ウ 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。
- エ しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

2 「五十歩百歩」という故事成語の使い方として最もふさわしいものを、ア～ウの中から一つ選んで、記号に○をつけましょう。

ア 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。

イ 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。

ウ 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

3 次の(1)と(2)の言葉を、例のように、ローマ字でいねいに書きましょう。また、(3)のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

(例) [いぬ]  
↓  
inu

(1) [たべもの]  
↓  
\_\_\_\_\_

(2) [あさって]  
↓  
\_\_\_\_\_

(3) hyaku  
↓  
[ ]

漢字・語句の復習「ことわざ・故事成語・ローマ字」



答え

「答え」

1

エ しんぼう強くやれば、よい結果けっかが得られること。

2

ウ

「五十歩百歩」  
少しの違ちがいはあっても、  
本質ほんしつ的・結果的にはほとんど  
同じであること。

3

(1) [たべもの]

↓  
tabemono

(2) [あさって]

↓  
asatte

(3) hyaku

↓  
[ひやく]

\* 1の問題の中にあつた、



「レッツ・トライ!!」

イあることが得意な人でも、失敗することがあること。

ウ 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。

という意味を表すことわざを探してみましよう。

\* 中国に伝わる古い出来事や物語がも  
とになっている、ことわざに似た短い  
言葉を「故事成語」といいます。

次の故事成語の意味や、もともなった  
話を調べてみましょう。

・「百聞は一見にしかず」  
ひゃくぶん いっけん

・「矛盾」  
むじゆん

・「漁夫の利」  
ぎよふのり

